

カリキュラム

Curriculum

1年次

両コース共通の科目を履修します。データサイエンスの基礎となる情報収集方法や統計学、数学などを学びます。

<教養科目>

- 外国語科目
- 情報基礎科目 など

<学環基礎科目>

- プレゼンテーション実習
- 確率・統計 など

DS総合コース

約40名

人工知能や情報処理に関する科目を学修するとともに、経済、公共政策や学習教育手法など自身の興味に応じて文理横断的な知識を習得します。

<情報科学関連科目>

- ウェブプログラミング基礎
- デジタル信号処理
- メディア情報処理 など

<社会科学関連科目>

- 経済学入門
- インストラクショナルデザイン基礎
- 行政学 など

<学環基盤科目>

- 人工知能
- データ分析
- 統計学
- 実用英語
- ビジュアライゼーション など

DS半導体コース

約20名

データ分析に関する科目などの他、半導体や電気回路に関する科目を学修し、半導体デバイスを製造する各工程の品質管理や効率化等に関連する知識を習得します。

<半導体関連科目>

- 半導体工学
- デジタル電子回路
- 半導体製造技術 など

4年次

4年間の学修の集大成として、各研究室で実施されている研究テーマ等に関して卒業論文にまとめ、口頭発表します。

<学環基礎科目>

- 卒業研究
- 実践アントレプレナーシップチャレンジ など



少人数教育による実践的な学び

入学定員60名で少人数教育を可能とし、演習や実習を多く取り入れることで実践的かつ専門的な学びを提供します。



文理融合型の教育

文理融合型の教育により、DX時代に対応するためのICT活用能力やデータサイエンスに関する基盤を身に付け、製造業・金融業・教育業など各種産業分野で活躍できる人材を育成します。

グローバル人材育成

1年次の共通教育である外国語科目の履修により、一定水準の基礎を身に付けた上で、2年次や3年次では専門用語などを含めた実用的な語学を学びます。さらに半導体関係企業などでのインターンシップではコミュニケーション能力および実践力を養成します。

PBL演習

地元企業や自治体と連携して開講されるPBL演習(問題解決型学習)や、系統的に履修可能なアントレプレナーシップ科目を通じて、社会課題の把握/分析と課題解決能力を養います。

「数学」と「情報」の教員一種免許状の同時取得を意識したカリキュラム

本学環は、データサイエンスを学ぶ教育プログラムの中で、無理なく、中学校「数学」、高校「数学」「情報」の教員一種免許状の同時取得が可能となるよう、数学と情報に関する専門科目を体系的に学修できるカリキュラム構成としています。



数学・理科のフォローアップ体制について

特にDS半導体コースのカリキュラムでは、数学IIIや物理・化学の知識が求められます。そのため、高校までの知識を補い、大学の科目に接続するための授業を1年次の前期・後期に開講します。ここで基礎固めをしっかりと行い、2年次からの専門的な授業が始まった際、つまづきがないようサポートします。